

桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2023

No.180

令和5年5月16日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555
メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

新しい仲間と新しい取り組み



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

会長あいさつ

社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会

会長 田中 光朗



新緑輝くさわやかな5月。4月に入学した新一年生達は、元氣よく登校しています。

町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃より、社協事業の推進に対し暖かいご理解とご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和元年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、法的分類が2類から季節性インフルエンザと同じ5類へ引き下げられ、大きな転機を迎えました。令和5年度は、本格的な活動再開の年ととらえています。

ご承知の通り社協の事業は、乳幼児から高齢者まで福祉の分野で多岐にわたっています。この事業の活動資金は、町民の皆様からの賛助会費や赤い羽根共同募金・寄付金等多くの方々の善意によって支えられています。厚くお礼申し上げます。

近年、急速に進む超少子高齢化・人口減少社会、さらに、コロナ禍において地域の「つながり」「きづな」が衰退し、福祉力が弱くなっているといわれます。この様な社会環境の中、私共社協は支えあいの心をもつ「地域共生社会」の実現を目指し、支え手・受け手、世代間や分野の関係をこえて取り組み、福祉の充実、また多様化する町民の方々からのニーズに対応するべく、社協役員一同一丸となり「誰もが安心して暮らしていける地域づくり」を目指し推進してまいります。

職員体制について報告致します。令和5年4月1日付にて、昨年急逝されました花岡さんの後任として河合真心さんが入職され、新体制でスタートしました。前任同様ご指導をよろしく願っています。

ポスト・コロナ後のまだ不安定な状況ではありますが、新たな福祉社会を作り上げる為にも、町民の皆様をはじめ、関係機関・福祉団体及び福祉施設各位のなご理解とご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

役員変更

桂川町議会選出の理事が令和5年12月31日付で辞任され、令和5年3月29日付で、後任者が選任されましたのでお知らせします。

新役員	旧役員	選出母体
大塚 和佳	吉川紀代子	桂川町議会

桂川町議会選出の評議員が12月31日付で辞任され、令和5年3月10日付で、後任者が選任されたのでお知らせします。

新役員	旧役員	選出母体
吉川紀代子	大塚 和佳	桂川町議会

職員紹介



4月1日から地域福祉担当職員として勤務しています。河合真心（かわい まなか）です。新卒の22歳です。

大学では、地域連帯活動を行っていました。近隣自治体の課題の解決案を考え、文化祭では特産物を販売し、地域に貢献してきました。

趣味は野球観戦です。よくソフトバンクホークスの試合をドームに行き観戦しています。

桂川町には、12月に引越してきたのでまだ知らないことばかりですが、地域福祉に貢献できるよう頑張りますのでよろしく願っています。



ボランティア団体

布つ子さんから

ご提供いただきました

社会福祉協議会から「布でできた音のなるピアノ」を作ってもらいたいとお願いしたところ写真のような布おもちゃを製作していただきました。この布で出来たピアノは鍵盤を押すと「びー」と音が鳴ります！子どもたちに見せれば大人気間違いなし！

大切に使用させていただきます。



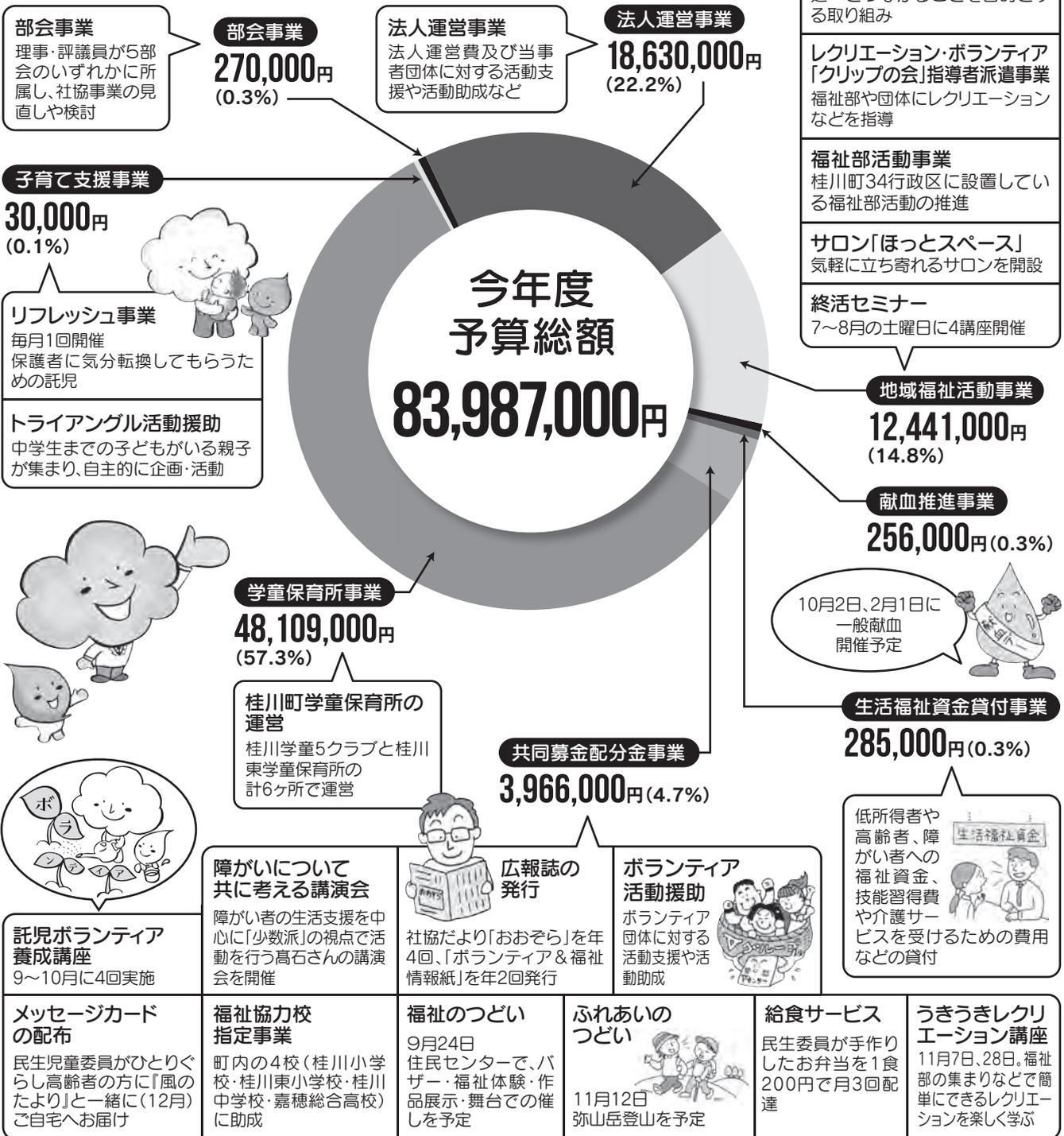
令和5年度 事業計画と予算

基本方針

当協議会は、社会福祉法に基づき、社会福祉を目的とする事業の企画運営を役職員が一丸となって取り組みます。

現代社会には、①地縁関係の希薄化、②孤立・孤独、③貧困などの課題があります。これらは、高齢者分野、障がい児・者分野、児童など属性や領域にかかわらず起こり得る課題です。昨今の新型コロナウイルス感染症拡大では、孤独・孤立や生活困窮の問題に直面する住民が世代を問わず存在することが浮き彫りになりました。

令和3年に改正された社会福祉法においては、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける「地域共生社会」の実現がうたわれ、属性・世代を問わない相談・地域づくりを重層的に構築していくことが求められています。また全世代型社会保障構築会議においても、複雑複合化している課題に対して、重層的な支援を実現する体制整備が求められていることから、本会においても関係機関と連携しながら、地域住民の複雑・複合化したニーズに対応する「①相談支援」、「②参加支援（社会との繋がりを回復する支援）」、「③地域づくりに向けた支援（地域における多世代交流等）」を一体的に進めることで、包摂的・重層的な支援体制を構築します。



救急安心カード入れの作成及び冷蔵庫保管の推進
緊急事態に備えて、迅速に救急搬送へとつながることを目的とする取り組み

レクリエーション・ボランティア「クリップの会」指導者派遣事業
福祉部や団体にレクリエーションなどを指導

福祉部活動事業
桂川町34行政区に設置している福祉部活動の推進

サロン「ほっとスペース」
気軽に立ち寄れるサロンを開設

終活セミナー
7～8月の土曜日に4講座開催

地域福祉活動事業
12,441,000円 (14.8%)

献血推進事業
256,000円 (0.3%)
10月2日、2月1日に一般献血開催予定

生活福祉資金貸付事業
285,000円 (0.3%)

低所得者や高齢者、障がい者への福祉資金、技能習得費や介護サービスを受けるための費用などの貸付

部会事業
270,000円 (0.3%)
理事・評議員が5部会のいずれかに所属し、社協事業の見直しや検討

法人運営事業
18,630,000円 (22.2%)
法人運営費及び当事者団体に対する活動支援や活動助成など

子育て支援事業
30,000円 (0.1%)

リフレッシュ事業
毎月1回開催
保護者に気分転換してもらうための託児

トライアングル活動援助
中学生までの子どもがいる親子が集まり、自主的に企画・活動

学童保育所事業
48,109,000円 (57.3%)
桂川町学童保育所の運営
桂川学童5クラブと桂川東学童保育所の計6ヶ所で運営

共同募金配分金事業
3,966,000円 (4.7%)

障がいについて共に考える講演会

障がい者の生活支援を中心に「少数派」の視点で活動を行う高石さんの講演会を開催

広報誌の発行

社協だより「おおぞら」を年4回、「ボランティア&福祉情報紙」を年2回発行

ボランティア活動援助

ボランティア団体に対する活動支援や活動助成

託児ボランティア養成講座
9～10月に4回実施

メッセージカードの配布
民生児童委員がひとりぐらし高齢者の方に「風のたより」と一緒に(12月)ご自宅へお届け

福祉協力校指定事業
町内の4校(桂川小学校・桂川中学校・嘉穂総合高校)に助成

福祉のつどい
9月24日
住民センターで、バザー・福祉体験・作品展示・舞台での催しを予定

ふれあいのつどい
11月12日
弥生岳登山を予定

給食サービス
民生委員が手作りしたお弁当を1食200円で月3回配達

うきうきレクリエーション講座
11月7日、28日。福祉部の集まりなどで簡単にできるレクリエーションを楽しく学ぶ

コーヒーを楽しむ会の紹介

コーヒーを楽しむ会の主宰 原さんにお話を聞きました。

毎月1回、土曜日の午前中に開催しています。

ハンドドリップという手法で淹れたコーヒーを飲みながら、桂川町に関わるいろいろな情報交換ができる場として活動をしています。

コロナ禍もあって、本格的に活動を始めたのは今年に入ってからになります。

私は、生まれも育ちも福岡県久留米市、令和3年6月に桂川町に引っ越してきました。大学卒業後、いろいろな仕事を経験し、現在は飯塚市内の職場に勤務しています。

ボランティア活動を始めきっかけは、当時住んでいたマンションでの経験がありました。福岡西方沖地震や熊本大地震で地震の揺れにより建物にも影響が出ました。地震の揺れが収まった頃、同じマンションに住む方から「大丈夫ね?」とお声かけいただき、安心したもので、近所つきあいの大切さを実感しました。

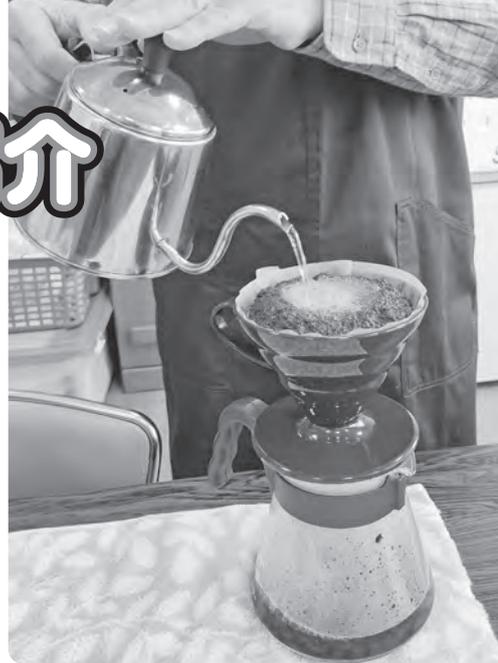
5年ほど前から地域活動グループに所属し、主に「居場所作り」をテーマとした勉強会や体験会に参加した

り、グループのリーダーとして役員さんと一緒に企画を立てる等の活動を行っています。また、コーヒーボランティアとして高齢者サロンの訪問活動も行っていました。

将来は自分の喫茶店みたいなものを持って、楽しい居場所を作ることが夢です。

「桂川町のこともっと知りたい!」その為にはまず行動することで桂川町に溶け込んでいきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。

コーヒーを楽しむ会
主宰 原 守利さん



高校生の社協活用方法!

デジタル活用相談員として大活躍中の松尾さんに

「高校生による社協活用術」を教えてもらいました。

デジタル
活用相談員
松尾 麟之介さん



今年の4月に高校3年生になりました。以前からボランティアに興味があり、海の清掃のボランティアへの応募を考えていました。その時に父から社会福祉協議会のことを教えてもらい、僕がボランティアできるようなことがないか相談したのが、今の活動に繋がっています。

今秋には入試が控えています(AO入試)。入

試のときのアピールポイントをつくることもボランティアをしている理由の一つでしたが、ボランティアをすると周りからの評価だけではなく、自己肯定感の向上にもつながりました。また目上の方との会話を体験できるので、礼儀とか気遣いとかを学べる貴重な経験になっています。

スマホの使い方を教えるのは難しいことではなく、高校生のスマホユーザーであれば多くの人が知っていることがスマホ初心者にとって新たな知識になるので、誰でも役に立てると思います。

将来、進みたい道や分野を広げるためにも社協へ「ボランティアがしたい」と相談にいくだけでも価値ある行動だと思います。

僕と一緒にデジタル活用相談員としてボランティアしてくれる人も募集中です!



福祉部委嘱状交付式 & 地域福祉講演会

桂川町には現在34行政区があり、それぞれに福祉部が設置されています。福祉部では年間計画に基づき、福祉部長や福祉員が中心となり、サロンの開催や世代間交流、見守りや声かけなどさまざまな活動に取り組んでいます。

地域の子育て世帯、高齢者が集まるサロンの活動拠点から、住民すべてが担い手となり、見守りや声かけが更に広がり住民同士のつながりを深めるための仕組みづくりを学びます。

誰でも年齢を重ねると出来なくなることが少しずつ増えていきます。そんな時、なかなか言えない「助けて」を言

える地域づくりをみなさんと一緒に考えていきます。

期 日 6月24日(土)
場 所 住民センター「大ホール」
時 間 12時45分 受付
13時00分 福祉部委嘱状交付式
13時10分 特定健診について
13時20分 福祉部活動の実践報告
13時30分 地域福祉講演会
講 師 ご近所福祉クリエイション
酒井 保 氏



“もしも”のときの安心相談会



終活相談会

日 程 偶数月の第4木曜日(12月は第3木曜日)
6/22・8/24・10/26・12/21・2/22
時 間 10時～12時(要予約)
場 所 いきいきセンター「桂寿苑」
相談員 終活パートナー九州 代表 眞武純哉氏
内 容 相続・葬儀・お墓・散骨・遺品整理
財産管理など
費 用 無料
相 談 40分/件



遺言・相続などの無料相談

日 程 奇数月の第2水曜日
7/12・9/13・11/8・1/10・3/13
時 間 13時30分～16時(要予約)
場 所 いきいきセンター「桂寿苑」
相談員 飯塚公証役場 吉田 光宏 公証人
内 容 協議離婚に伴う養育費や慰謝料の支払い
遺言、相続、尊厳死、金銭消費貸借など
費 用 無料(公正証書作成手数料等は実費)



終活セミナーのお知らせ

「終活」と聞くとマイナスイメージを持つ方もおられるかもしれませんが、このセミナーを受講すれば、「楽しい!おもしろい!」と前向きな気持ちで取り組めるはずです。

桂川版エンディングノートを活用しながら、家族と一緒に“想い”や“希望”を整理し、より良く生きていくための方法をみつけてください。そして、その想いを実行するのは残された方々です。だからこそ、お互いに話す時間が大切です。ぜひ家族や友人も一緒にお気軽にご参加ください。

日 程	内 容
7月15日	ご存知ですか?デジタル終活の取り組み
7月22日	介護保険の話と知っているようで知らない 成年後見・財産管理の話
7月29日	あなたの財産は将来どうする? 遺言を書いてみよう!
8月5日	亡くなった後の手続きはこんなに大変!? 死後事務委任について

講 師 一般社団法人Wish理事
終活パートナー九州 代表 眞武純哉氏
桂川町社協 事務局長 三宅 浩志 氏

日 程 全て土曜日
時 間 10時～12時30分
場 所 住民センター(7月29日のみ「ひまわりの里」)



お知らせ

苦情解決体制 ～桂川町社会福祉協議会～

事業において、利用者や関係者など皆さまからの苦情に適切に対応するため、下記担当者が解決に努めます。職員には言いづらい相談や職員の説明に納得できない場合は、第三者委員に直接申し出ることができます。

また、お気づきの点がある場合はご遠慮なく連絡をお願いいたします。

苦情解決責任者	三宅 浩志(事務局長)
第三者委員	原中 政道(社協監事) tel.65-3011
	松尾 忠介(評議員) tel.65-1550
苦情受付担当者	河原 美奈子(職員)
	井田 圭亮(職員)
	河合 真心(職員)
	中山 真弓(学童支援員) tel.65-4480
	伊藤 祐子(学童支援員) tel.65-5581
桂川町社会福祉協議会 tel.65-2271	

福祉サービス苦情解決制度 のご案内

児童、障がい者、高齢者などに対して、在宅や福祉施設で提供される福祉サービスの苦情についての相談をお受けします。

福岡県運営適正化委員会 受付からの流れ

- 1)相談 苦情の内容について、電話・手紙・面接でお話を伺います。
- 2)事情調査 相談者、事業者の同意を得たうえで事業者に苦情内容を通知し、事実確認のための調査を行います。
- 3)解決方法の決定 福岡県運営適正化委員会で解決方法を検討します。
 - ①相談者に対する助言や事業者に対して申し入れを行います。
 - ②申出人と事業者の話し合いに立ち合い、解決方法を提案することもできます。
 - ③虐待や法令違反などは、すみやかに福岡県知事等に連絡します。

相談内容例

- 職員の言葉づかいや態度が悪く、傷ついた。
- 約束していたことを守ってくれない。
- 事故、ケガについての説明や対応に納得できない。など…

令和5年2月1日～令和5年4月30日

香典返し(寄付金)

ありがとうございました



- 土居一 穂坂佐代子様 (故母) 川波 ヒサエ様 (安河内幸弘様(故妻) 節子様)
- 土居二 高山 節子様(故夫) 義勝様(宮脇 篤様(故兄) 幸治様)
- 吉隈三 大谷 光春様 (故母) 藤川 ヨシ子様(山田 絹子様(故夫) 幸雄様)
- 寿命 古野 信之様(故父) 稔様
- 土師三 長瀬 昌子様(故夫) 俊夫様
- 土師四 穂坂 千鶴様(故夫) 精志様

- 土師七 藤川 一徳様(故母)ハルエ様(藤川 明仁様(故母)シゲ子様)
- 平山二 加来カスミ様(故夫) 正彦様
- 笹尾一 内尾 章一様(故妻) 房子様
- 土師一 種因寺様 (町内の災害対策のために) 寄付金合計3600,000円

学童保育所

「夏休み」のみ利用児童募集

学童保育所は、保護者が就業や疾病などのために、保育を必要とする家庭の児童に対し、安全の確保や健全育成を図るための施設です。

夏休み期間中だけの利用を希望する方は、下記のとおり申込をお願いします。

対象 町内小学校に在籍する小学1年生から6年生

募集定員 桂川学童保育所 若干名

桂川東学童保育所 若干名

保育日時 7月21日(金)～8月31日(木)(日曜日・祝日は除く) 8時～18時30分

利用料 子ども一人6,000円(2人目以降3,750円)

傷害保険料一部負担 620円

※保護者会費やおやつ代などが別途必要

申込期間 6月1日(木)～16日(金)

申込用紙 各学童保育所、社会福祉協議会、住民課、子育て支援課で5月15日(月)から配布

申込先 ○各学童保育所

○桂川町社会福祉協議会

(いきいきセンター「桂寿苑」内)

※申込期間前に定員を超えている時は、受け入れができない場合があります。



Instagram

桂川町社会福祉協議会のInstagramを始めました。

社会福祉協議会内で活動している「手作りの会」の作品など、日々の福祉活動を発信しています。



LINE

桂川町社会福祉協議会の公式LINEでは行事や事業に関するお知らせ等を発信しています。

また、活動風景なども載せているのでぜひ追加をお願いします。



問合せ・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

このひとに聞きました



やちこ くにお
八児 邦生さん



プロフィール

- ◎年齢 77歳
- ◎住所 土師三
- ◎趣味 畑、お宮の草取り、グラウンドゴルフ

■聞き手
今田 貴美子

獅子舞に御神楽にさまざまな形で地域の伝統を守られている八児邦生さんのこれまでの活動やこれからのことについて聞きました。昔からの言い伝えや教えについても伺いました。

Q1 いつごろから活動していますか？

土師の獅子舞は、小学校1、2年生くらいから始めました。その時から太鼓が大好きで、ご飯を食べるときにも箸で机をたたいてよく怒られました。始めた当初は廻り打ちをしたときにもらえる柿やおにぎりも楽しみました。それから就職で、獅子舞から離れてしまいましたが、息子が4年生になり獅子舞に行かせたときに、大好きだった太鼓の音が心に響き、獅子舞への想いが復活したことで今も続けています。

Q2 なぜ獅子舞を続けていますか？

長年続けるのは体力的にも大変です。獅子舞を舞うまでの準備も大

Q3 今後、獅子舞がどうなっていくと思いますか？

変です。太鼓の音が好きなのもありますが、それだけでは続かなかったと思います。これまで続けて来られたのは、皆さんに獅子舞を見て、楽しんでほしいという使命感もあります。また伝統を守るためには誰かが先導しなければならぬ責任感もあります。なにより地区の総代、地域の方々のご支援、ご協力があるので続けることができます。

ただ舞うだけでなく、縁をもつて地域の方と繋がることのできる獅子舞や御神楽でありたいと思っています。獅子舞は1対で4人必要ですが、舞い手が少ないのが現状です。私達は地域の方々の参加や見学を歓迎しています。まずは見に来て、獅子舞や御神楽に興味をもってもらいたいと思っています。興味があれば第3火曜日20時、土師コミュニティセンターで獅子舞の練習をしていますので、見に来てください！

一日一日を大事に感謝の心で暮らす

編集後記

元気と勇気を与えてくれた侍ジャパンに感謝

3月の野球国際大会「WBC」のメキシコとの準決勝戦、7回起死回生の吉田選手の同点3ランホームラン。

最終回の大谷選手がヘルメットを投げ捨てツーベース、ベース上でのチームを鼓舞するガッツポーズ。それに応えるような村上選手がタイムリー完全復活での超絶的なサヨナラ大逆転勝利。

またアメリカとの決勝戦での村上選手のホームラン。豪華投手の小刻みなリレーで強打者のアメリカ打線をかまし、緊迫した9回の大谷投手とトラウト選手との名勝負。ツーアウト、スリーボール、ツーストライク、フルカウントからの最後の1球、まるで漫画のような台本があるかのような展開。侍ジャパンの活躍に、にわかファンとともに連日のように日本中を感動の渦に巻き込み、素晴らしいチームの結束力で優勝に導いた栗山監督の選手の力を引き出し、徹底して選手を「信じる力」が導いた全勝での世界一。全国に勇気と感動、明るい話題を与えてくれた「スポーツの力」の凄まじさを感じた国際大会でした。「勇気と感動をありがとう」

広報部員
河部 寛



鉛筆画：槍ヶ岳(古後 昭正)

得意なこと、教えてください

桂川町社会福祉協議会では、令和4年度に2つの新しい支援を始めました。p4で紹介した2つの活動への支援です。

一つは「コーヒーを楽しむ会」。コーヒーボランティアの原さんを中心に人と人の新しい繋がりが生まれています。もう一つは高校生ボランティアの松尾さんがデジタル活用相談員として、デジタル社会では不可欠なスマホの使い方を教えてくれています。両者とも大盛況で、いつも定員いっぱい締め切るほどの人気ボランティアさんです。

たくさんの人が集められる技術や知識も素晴らしいことですが、興味を持つ人が一人だけでも、その一人の役に立つことができます。地域には、困り事が大小かわらなくたくさんあります。行政や民間サービスで解決できることもあります。隣近所、同じ組内、行政区のなかで解決することができれば今以上に住み良い町になると思います。それを実現するためには一人ひとりの力を集結させることが大切です。

「ちいさなこと」でも活躍・活用できる場面はたくさんあると思います。桂川町社会福祉協議会では、「お菓子作りが得意、ドローンが飛ばせる、魚の三枚おろしを教えたい、タイヤチェーンを巻くのが上手い」など、その方に合わせたボランティアの場を創造し、人と人の繋がりの場を提供することで、地域福祉の向上につなげます！

